

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人 凌雲会	代表者	稲次 正敬	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域・自宅での暮らしが維持できるよう、「通い」利用を中心に、利用者・家族の様な感じ「訪問」「宿泊」を組み合わせ24時間・365日固定された時間にこだわらず、一人ひとりの生活に合わせ臨機応変に対応し、その人らしい生活、暮らし方が継続できるよう、一日の決められた日程等を設けることなく、家事活動を中心に利用者の持っている意欲、力を引き出し生きがいの持てる暮らしを目指しています。私たちは、可能な限り在宅で暮らすこと、最期までその人らしい人生を送っていただけるよう、その人の思いと願いを大切にしたい支援・サービスを提供しています。
事業所名	小規模多機能ホーム 親の家	管理者	福富 郁代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	2人	2人	人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続き毎日送迎後にミーティングを行い情報の共有に努めていきます。	情報の共有に重点を置いていたが情報共有する手段が曖昧であった。	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価し、問題点を各人が共有することは良いと思います。 結果、出来ていない事があれば、なぜ出来なかった原因を探して対策することは行っているのでしょうか？ 介助する側（家族）にも目を向けてほしい。 	ミーティングを行い、情報の共有に努める他に、利用者様だけでなく、家族様にも寄り添い（気軽に話を聞いたり、相談できるような）支援を行っていききたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	イベントの外出行事以外にもスタッフが多い時は希望に応じて外出を行っていききたい。	毎日の買い物以外にも季節に応じて、外に出掛けたりできた。	・事業所の雰囲気は非常に良いと思います。	イベント行事以外にも、少人数で外出したり行っていききたい。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ご家族に参加頂ける行事を行っていきます。 地域の方も気軽に来て頂ける環境を作っていきます。 	外出行事などは行えたが、特定の家族様しか参加できないことがある。	・相談もしやすく助かっています。	・地域の方も気軽に来て頂ける環境を作っていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の行事にお誘いしていただき参加している。今後も認知症カフェなどを通して地域行事の情報を得て参加していきます。	子供神輿で地域との交流はしているがまだまだ他の交流が少ない。		広報誌や認知症カフェで地域行事を見つけ参加できるようにしていきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き運営推進会議の議事録や資料などを配布し事業所が行っている事を周知します。	家族様全員に案内を入れ、参加されなかった家族様には議事録や資料を配布して活動状況をお伝えする。	具体的な内容が分からないのでコメント出来ません	運営推進会議の議事録や資料の配布をし事業所の活動内容を周知していきます。
F. 事業所の防災・災害対策	引き続き年2回の防災訓練以外にも炊き出し訓練等定期的実施していきます。	消防士立ち合いで訓練をしたり、炊き出し、仮設トイレの設置等、事業所全体で発電機の使用方法などを学ぶ。	・本人が施設利用時に災害(地震など)があった時の安否確認はどうのようになれば良いのでしょうか？	防災訓練を継続し、災害伝言の訓練も毎月行う。家族様に対しても災害時は災害伝言ダイヤルを活用することを伝える。